

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

 TEL 098-868-6895
 FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

運をつかむ道は人格陶冶の道である

1. 人が成功するのは、ある日突然成功するわけではない。平素の努力の集積によって成功する。禍が起こるのも、その日に起こるのではない、前から必ずその萌芽があるということである。運をつかむのもまた、同じだろう。運をつかむには、運に恵まれるにふさわしい体質を作らねばならない。言い換えれば、運を呼び寄せ、やってきた運をつかみ取るだけの実力を養わなければならないということである。
2. よい俳句を作るには三つの条件が必要である。その第一は、強く生きること。強く生きるとは、「主体的に生きる」ということだろう。状況に振り回されるのではなく、状況をよりよく変えていく生き方である。「覚悟を決めて生きよ」と言い換えることもできよう。第二は、深く見る。強く生きることでも初めて視点が定まり、深く見ることができる。深く見るとは本質を見抜くことである。状況を見抜くことでもある。ここに知恵が生まれる。第三は、巧みに表わす。巧みに表すことは大事である。分野を問わず、技術、技巧なくしてよいものは作れない。だが、それだけではよいものは作れない。強く生きる信念、深く見る姿勢があって、初めて技巧は生きてくる。
3. 「弱さと悪と愚かさとは互いに関係している。けだし弱さとは一種の悪であって、弱き善人では駄目である」。哲学者、森信三先生の言葉である。運をつかむ道は人格陶冶の道であることを、哲人の言は教えている。
(参考:「致知」2010年3月号)

経営者のための危機管理

危機管理者としての経営者の条件

玉山和夫 (札幌学院大学教授)

1. 悪い報告をしてきた部下を皆の前ではめる
 - ① ほめることで部下たちは、好ましくない情報でも隠さず報告するようになる。
 - ② 聞こえの良い情報しか耳に入ってこなければ、危機管理はできない。
 - ③ 良くない情報でもきちんと上がって来るようにすることが肝要だ。
2. 真偽を問わず、第一報を入れさせる
 - ① 危機が起きている時には、情報の真偽を確認している時間的余裕はない。
3. 「犠牲はつきもの」という覚悟を持つ
 - ① 会社の存続のためには、ある事業から撤退しなければならなくなった場合、「事業部長がかわいそうだ」などと躊躇することがあってはならない。
4. 自分より優れた人を周囲に集める
 - ① 危機管理において、「聞いてやろう」という態度でなく、「ぜひ教えてほしい」という謙虚さが必要だ。

(参考:「日経ビジネス」:2009年12月4日号)

新規成長分野

有望な生花業界

1. 葬儀業界の市場規模は現在、推定 1 兆 3000 億~1 兆 5000 億円といわれている。葬儀の費用で大きな割合を占めているのが、数十万円する「祭壇料」だ、祭壇の主流は、白木祭壇から色とりどりの花を用いた生花祭壇へと移りつつある。供花、献花など、花は葬儀の要所要所で顔を出す重要な脇役でもあり、他社との差別化を図るうえで、花の役割は大きい。
2. 1 件の葬儀で花の売上げが全体の 3 分の 1 を占めるといわれるほど、生花は葬儀社の重要な商品なのだ。一方、生花業界においても、需要の約 3 割は冠婚葬祭など業務用が占める。長引く不況で切り花の需要が伸び悩む生花店にとって、1 度に 300 本もの量がさばける生花祭壇は、ビジネス的に大変魅力的な商材だ。
(参考:「週刊東洋経済」2009年12月5日号)

古典に学ぶ

「忍」の工夫

「忍耐の実行上の工夫としては、つねに、“ここだ、ここだ”という意識がなければできないことではないのです。つまり、怒りの情を爆発させて、たとえば弟妹などに対して怒りの言葉を遠慮会釈もなく言い散らしておいて、後になってから“アッとしまった”というのでは遅いのです」

(参考:森信三「修身教授録抄」:報知出版社)